

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2019.11.5 No.364 東京・羽村平和委員会発行



10月28日から11月8日まで 横田基地でサムライ即応監査 1週目は準備段階の訓練。2週目11月4日から本格的な訓練

「横田基地における演習等の実施について」の情報提供が防衛省北関東防衛局から、ありました。

- 演習の名称 サムライ即応監査(SRI)
- 日程 10月28日(月)～11月8日 24時間体制
- 内容 ・実施に伴う航空機の運用 11月4日(月)～11月5日(火) 早朝にかけて、通常の時間帯外で運用の予定あり。
・現時点で、PASを11月6日(水)午前3時～4時に使用する予定。
*PAS(パブリック・アドレス・システム)以前は、ジャイアントボイスと呼んでいたもので、大音量の出るスピーカを使用し、サイレンや広報を行う。



サムライ即応監査は今年5月13日～17日までの5日間実施されており、その様子が米空軍横田基地HPに載っていました。右は、射手の写真、負傷者(仮装)手当てをする写真ですが、他にも、燃えている(仮装)建物、コンクリートを切断し復旧する作業など、多数掲載。戦時シナリオでの演習です。



人員降下、2日連続基地外へ



沖縄県伊江島(伊江村)で30日午後2時半ごろ、パラシュート降下訓練を行っていた米兵1人が、基地(伊江島補助飛行場)から約2キロ離れた民間空港滑走路に落下しました(写真)。現場に居合わせた人が自撃し、撮影しました。米兵は海兵隊所属とみられます。伊江島では、29日もパラシュートで降下していた米兵2人が風にあおられ、同じ民間空港滑走路とその周辺に落下したばかり。2日連続で民間地に落下する異常事態です。

沖縄・伊江島 前日と同じ民間空港

米軍また基地外落下

防衛省レクチャーに参加

防衛省レクチャーに参加
10月31日、日本共産党国会議員団東京事務所、防衛省レクチャーが行われたので、撤去の会のメンバーも4人参加しました。主な内容は、
1. サムライ即応監査(10月28日～11月8日)について。特に深夜・早朝の訓練とPAS等の使用について。
2. オスプレイの運用と関連施設の整備の状況、周辺自治体への目視情報等の提供について。
3. 米軍横田基地でこの間行われたパラシュート訓練について。並びに横田基地の土壤汚染と土砂の所沢搬出の状況について。等です。



「赤旗」10月31日付

輸送機から燃料900キロ放出 ■ 有害な臭気で米兵避難

横田基地 漏出事 118件

12〜17年 計1万リットル超 未通報も

【ジョン・ミッチェル特約通信員】米軍横田基地(東京)で2012〜17年、航空燃料やディーゼル燃料、泡消火剤などの有害物質が漏れ出す事故が少なくとも

2012〜17年に米軍横田基地で起きた漏出事

液体の種類	件数	漏出量(リットル)
航空燃料	64	3445
ディーゼル燃料	8	3040
油	8	250
油圧作動油	17	530
その他(ガソリン、不凍液、泡消火剤など)	21	3324
合計	118	10588

*漏出量は四捨五入しているため合計が合いません



118件あり、漏出量は計1万5888リットルに及ぶことが分かった。米国情報公開制度により入手した資料によると、一部は基地の外にも漏れ出たが、日本側当局に

は通報されなかった。

(1面参照)

最も深刻な事故の一例は16年9月13日に起きたC130輸送機の燃料タンクからの漏出事で、報告書は「大量の燃料」が飛行中に放出されたとしている。飛行経路直下の民間地域にまき散らされた燃料の量は重さ9072キロに及ぶと推測するが、同報告書によれば、この事故は日本側に通報さ

民間業者の基地内作業場から油、燃油や変速機用オイルなどが漏れ出した現場。米空軍が情報公開制度により開示した12015年11月、米軍横田基地

れなかった。在日米軍が定める日本環境管理基準(JECS)の下で米軍機の活動は環境対策の適用を免除されている。

12年8月7日には航空燃料約76リットルが漏出。有害な臭気のため兵員は基地内の建物から避難を余儀なくされたほか、燃料は配水管を通じて基地の外に流れ出した。そのほかの環境事故は、基地内作業などに従事する民間業者者の不注意によるものだった。14年8月、民間業者によりアスベストを含む資材が法令の定める手順によらず基地の外に廃棄された疑いがある。

15年11月には、油や石油、変速機用オイルの混じった液体189リットルが民間業者によりスクラップされる車両の山から漏れ出しているのが見つかった。環境は排水路に流れ込んでおり、基地の人員が放水口を閉じ、基地の外に漏れ出すのを防ぐとしたが、壊れていて閉

右の記事は、2018年12月10日付の沖縄タイムスの2面です。次号で1面の「横田基地、井戸から有害物質検出」を載せます。

じることができなかった。しかしこの事故の報告書では基地の外への漏出はなかったと記されている。

燃える井戸水事件(佐藤元賀著『昭島の水物語』より)

「この発端は、1967年1月頃に、井戸水が「ガソリン臭い」と訴えがあった。実際に火を近づけると燃え上がる。同年6月10日までにおこなった市の調査によると、掘向(現美堀町)、昭和町、朝日町一帯の68件の井戸に汚染が確認された。貯蔵タンクから漏れて流れだした米軍横田基地内のジェット燃料ガソリンによって、昭島市内の井戸水(家庭用)が汚染された事件である。

この事件で家庭用井戸水が市水道に切替えられ、そのために防衛施設庁から約900万円の国庫補助が出された。もちろん井戸が汚染された各家庭に損害補償がおこなわれたのは当然である。」

まさに、環境破壊者は、米軍ですね。

○ 11月17日は、第128回横田基地座り込み行動

○ 11月22日は、JR3駅で宣伝署名行動

11月24日は、横田基地にオスプレイはいらない東京大集会